

「緑の学園」で高校生が畜産体験

京都府学校農業クラブ連盟主催の「緑の学園」は、将来、農業を志す高校生を対象に、実習等の体験を通じて農業に対する理解を深め、担い手としての意欲を高めることを目的に、夏期休暇を利用して開催されています。

8月5日、当センター担当の「畜産部門」に府内4校から10名が参加しました。

生徒たちは、当センター職員から乳牛の体型審査の審査項目と判定基準の説明を受けた後、モデル牛4頭の審査・順位付けを行う審査競技に取り組んだほか、乳製品加工実習や酪農クイズを通して、畜産への理解を深めました。

今後も、教育機関等からの協力要請を受け入れ、体験実習等の場を提供して新たな担い手が育つよう支援していきます。



モデル牛4頭を熱心に観察して
「体型審査」と「順位付け」



乳製品(アイスクリーム)加工実習